

南伊豆町自主運行バスの再編について

1 経過

下田駅から下賀茂方面の路線は、下田駅～下賀茂線のほか、下田駅～子浦線、下田駅～伊浜線があり、南伊豆町自主運行バスと(株)東海バスの自社路線が混在して運行しております。

昨年度、(株)東海バスから南伊豆町に対し、コロナウイルス感染症の影響により収支が大幅に悪化したことから、自社路線として運行している分については、維持が難しくなってきたとして、単独継続困難の申し出がありました。この申し出への対応として、当町では、南伊豆町自主運行バスとして維持確保を図ることを検討しましたが、既存の自主運行バスの収支状況も悪化したことにより補助金の増加が見込まれる中で、当該路線を新たに自主運行バスとして加えることは厳しい状況にございました。

こうした状況を踏まえ、(株)東海バスと協議を行った結果、下田駅～下賀茂間を地域間幹線系統、下賀茂～子浦・伊浜間を自主運行バスに再編することにより、路線の維持が図れるとして、本年1月開催の国土交通省中部運輸局静岡運輸支局及び静岡県を含めた南伊豆町公共交通会議において、(株)東海バスより路線再編による運行継続の説明と下田駅～下賀茂線の国庫補助路線化についてご審議いただいております。

2 再編内容

日中の下田駅～子浦・伊浜方面のダイヤを下田駅～下賀茂と下賀茂～子浦・伊浜に分割し(下賀茂で乗り換え)。また、分割することにより吉祥13時40分発下田駅行きを減便(現行は、このダイヤの10分後に伊浜発下田駅の運行があるため)し、効率化を図ります。

また、上記にあわせて、現在下賀茂14時40分発下田駅行きを登校日の水曜日のみ運行から毎日運行に変更いたします。

詳細は、別紙時刻表のとおりとなります。

3 再編に伴う影響

再編に伴い、日中については下賀茂で乗り換えとなりますが、乗降調査結果によると乗り換えとなる利用者は、下記のとおり、コロナ禍以降1便あたり1人以下と少なく、影響は少ないと考えられます。

下賀茂を跨いだ利用者数

(単位一人)

	1日あたり	1便あたり
2022年度	8	0.73
2021年度	7	0.64
2020年度	10	0.91

※乗降調査結果より

また、下賀茂で乗り換えとなりますが、現在の下田駅方面⇄入間・中木方面、青野橋・天神原方面と同様に、接続をとったダイヤ設定としております。

運賃についても、乗り換えにより利用者の負担が増加しないように、乗り継いだ場合であっても、通しの運賃と同額となるように関係各所と調整を行います。

※下賀茂行きのバス車内において、乗り継がれるお客さまは下賀茂までの運賃を支払っていただいた後、運転士から「乗り継ぎ票」を受け取り、乗り継ぎ後のバスにおいて「乗り継ぎ票」を運転士に渡していただき、下賀茂までの差額を支払う方法で検討中。

4 自主運行バス事業に係る費用

再編に伴い、下田駅～下賀茂間が国庫補助路線（地域間幹線系統）となることから、今年度の南伊豆町自主運行バスの費用負担は、(株)東海バスの自社路線分が追加になるにもかかわらず、再編を行わない場合に比べ4,000千円程度（国および県からの補助を除いた場合は600千円程度）軽減されます。

以上